

マヨネーズのことならお任せ!

キュピー「マヨテラス」を見学



(左)マヨテラスの外観
(右)マヨネーズドームの入り口

マヨネーズの歴史やおいしさの秘密などが学べる、協賛会社キュピー（ベルマーク番号07）の「マヨテラス」を、7月に財団職員が見学しました。

東京都調布市の京王線仙川駅から、甲州街道沿いに少し西へ歩いたところに、空からだ六角形に見える不思議な建物「仙川キューポート」があります。同社の研究施設等が入っている建物です。その六角形の1階の2辺が「マヨテラス」。完全予約制で、平日に1日3回（1回25人まで）、各90分の見学を受け付けています。コミュニケーターと呼ばれるガイドが案内します。



建物中に入ると、まずは明るい「サラダホール」。白い床はお皿を、置かれたソファはトマトやカボチャ、ブロッコリーなどの野菜をイメージしているとのこと。そう教えてくれたのは羽生田雅子さん。昨年11月からコミュニケーターをしている笑顔の素敵なお方です。

ホールの右手は、マヨネーズやキュ

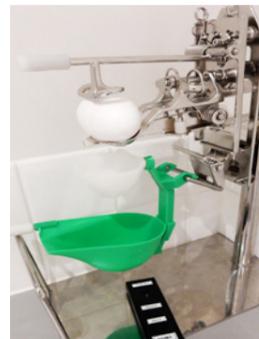


ピーの歴史を学べるギャラリーです。マヨネーズという言葉の語源は、スペインの港町、マオン。18世紀中頃にフランス人リシュリュー公爵が町の食堂で出会ったソースのおいしさに感激して広めた際、「マオンネーズ（マオンのソースという意味）」→「マヨネーズ」となったようです。そのマヨネーズにアメリカ留学中に会い、1925年（大正14年）日本で初めてマヨネーズの製造・販売を始めたのが、キュピーの創始者・中島董一郎でした。ギャラリーでは懐かしい過去のCMなども見ることができます。

ギャラリーの反対側にあるのが「マヨネーズドーム」。赤いキャップのマヨネーズ容器を横にした形で、通常のボトル（450g）の50万倍の大きさとのこと。星形の絞り口から中に入り、マヨネーズのおいしさの秘密や工夫についてのお話を聞きます。キュピーでは世界のいくつかの国でマヨネーズを製造し、販売して

いますが、国ごとにボトルの形やデザインが異なるそうで、色んな言語でパッケージされた実物が展示されていました。

ホールの正面には「ファクトリーウォーク」。最初の通路では、いきなり両サイドからシュッと強風が。ここは工場をイメージしており、体に着いたゴミを取り除くためのエアシャワーです。タマゴを割ったり原料を混ぜたりする工夫や、キュピーマヨネーズには使用しない白身・殻の利用法などが学べます。



ギャラリーの奥にはキッチンがあります。見学者は、ここで実際にマヨネーズとサラダの試食ができるため、人気のコーナーです。また育児の講義を行ったり、小学校の自由研究向けに研究員が話をしたりなど、様々なイベントも開かれています。

建物の敷地には、別棟で「キュピーショップ」があります。同社の製品やキュピーグッズ類などを買えるほか、長寿番組「キュピー3分クッキング」の模型展示コーナーや、オープンテラスにカフェスペースもあり、ゆっくりとく

つろいで楽しめます。

「マヨテラス」のある仙川には、昔はキュピーマヨネーズの工場がありました。筆者は子どもの頃、仙川に住んでいたのですが、当時、甲州街道の向かい側には栄太郎館の工場があり、キュピーと栄太郎は地元の2大工場として有名だったことを覚えています。その後キュピーの工場は老朽化などもあって2011年に操業を終え、跡地に建ったのが「仙川キューポート」。その一角に「マヨテラス」がオープンしたのは2014年6月で、今年で開設5年目に入っています。ちなみに栄太郎の工場も2013年に八王子に移転しました。

「マヨテラス」の見学はネットか電話（03-5384-7770）による予約が必要です。ネット予約はHP（<https://www.kewpie.co.jp/mayoterrace/>）の「予約」のところをご参照ください。一般向けの駐車場はなく、来訪する際は公共交通機関をご利用ください。



おむすびコーナーに新回収箱

ファミリーマート、デザインを一新して設置

協賛会社のファミリーマート（ベルマーク番号23）が、店頭用の回収箱のデザインを一新し、店舗のおむすびコーナーに設置することになりました。

ファミリーマートのおむすびにベルマークがついていることを、来店された方にわかっていただきたい、またイトインコーナーがある店が増えてきているので、その場でベルマークを箱に入れてもらえれば、というのが狙いだそうです。箱は投函口を大きくして、お客様がベルマークを入れやすいように工夫したとのことでした。

写真の通り、箱の片側には「おむすび全品にはベルマークが付いています」という文字が、大きなベルのマークとともに飾りつけられていて、店頭でも目に留まりやすいデザインです。ファミリーマートに行ったら、おむすびコーナーをチェックしてみてください。

また、ファミリーマートが募集している「ありがとうの手紙コンテスト」の締め切りは10月1日（消印有効）です。小学生に、日頃の「ありがとう」の気持ちを書いてもらうコンテストで、感謝を伝える相手は人でも動物でも物でも構いません。同社のHPでは、池上彰さんを始めた審査員からのメッセージや、過去の受賞作品などを見ることが出来ます。問い合わせは0120-611260へ。

みんなで
ちょきちよき

